

優しい心、強い心の育て方！パート3！



大きくなあれ、大きくなあれ！

優しさと強さは表裏一体。「本当の強さは、最強の優しさをもっている人」。最近、更にこの思いが強くなってきました。

優しさの育て方には、いろいろな方法があるのですが、“植物を育てる”という方法も、大変有効なものです。今、学校では、1年生がアサガオ、2年生がミニトマトをベランダで育てています。毎朝たっぷりの水を与え、可愛がっている姿を見て、「水を与えている、あなたの心が育っているんだね。」という気持ちで見つめています。

子どもたちに、こんな声をかけるときもあります。「大きくなあれ、大きくなあれ」って水をやるんだって。まるで、自分を育てるおまじないですね♡お家でも、何かを育てられては如何ですか？優しさと強さが身体の中に、蓄えられていくことでしょう(*^o^*)



子どもたちの喜びに溢れた声が聞こえるようです！

～楽校共育の実現！～

この授業は一体なに？写真を見て、そう思われた方も多いのでは…。

実は、特別活動の一コマで、クラスで議題を決め、その実現に向けて意見を出し合い話し合っている場面なのです。しばらく足を止め参観していましたが、お互いの顔を見合わせ、もっと良い案にするには、もっと楽しくするためには…。子どもたちは、知恵を出し合う中で、様々な要素を考え「折り合い」を付けていることに感心しました。

自分たちで考え、自分たちで計画し、実践する！正に、その一連の活動の中で「自分たちが主役なんだ」という思いが醸成されていくのでしょう。“楽校共育”（楽しい学び舎で共に育つ：私の創った造語です）の一つの姿を見たようでした。(*^o^*)



～ほっと一息～

ツバメやすずめが子育てをする初夏。本校では、こんな素敵な出来事がありました。ある女の子達が、玄関の左右に置かれたプランターの下から、何やらさえずりが聞こえてくるといいます恐る恐るプランターをずらし、下を覗くと、何とそこには、すずめの雛が…。自然界で雛から育っていくには、人間の臭いは厳禁かも…。そう思い、子どもたちと相談して、この事は極秘事項に。それから2週間程経った頃でしょうか。数羽は無事巣立ち、1羽は、命を落とすことになりました。

そして今、子どもたちは、お墓に花を添えようと、種を植え、水をやり、その芽が少しずつ大きくなっています。命を尊ぶ優しい心と共に♡



